

原料費調整制度に基づく2024年1月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1㎡あたりの単価)で毎月調整します。なお、激変緩和対策期間のため、政府の支援による15円/㎡(税込)の値引きが適用されています。

今回の調整は、2023年8月から2023年10月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
3ヵ月の平均原料価格			→			反映		
			→			反映		
							反映	

○2024年1月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1㎡あたり)	
			2023年12月検針分	2024年1月検針分
料金表 A	0㎡から11㎡まで	786.50円	210.39円	211.38円
料金表 B	11㎡超～115㎡まで	891.00円	200.92円	201.91円
料金表 C	115㎡超～	1,961.30円	191.60円	192.59円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2023年8月から2023年10月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	89,220円/トン(10円未満四捨五入)
2023年8月から2023年10月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値 CIF 価格)	83,420円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $89,220 \text{円/トン} \times 0.9748$ $+ 83,420 \text{円/トン} \times 0.0404$	90,340円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定(平均原料価格 - 基準平均原料価格)	$90,340 \text{円} - 54,690 \text{円} = \underline{35,600 \text{円/トン}}$ (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1㎡あたりの価格変動額	0.075円
ガス料金激変緩和対策事業による支援単価(1㎡あたり)*	<u>-15円(税込)</u>
2024年1月分検針の調整額(1㎡あたり)	$35,600 \text{円} \times 0.075 \text{円} \div 100 \times 1.10 = 29.37 \text{円}$ (小数点第3位切り捨て) $29.37 \text{円} - 15 \text{円} = \underline{14.37 \text{円(税込)}}$
2023年12月分検針の調整額(1㎡あたり)	13.38円(税込)
(1月分)対(12月分)増減(1㎡あたり)	<u>0.99円(税込)</u>

2024年1月分の単位料金を1㎡あたり14.37円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2023年12月分料金	2024年1月分料金	影響額
20㎡	4,909円	4,929円	20円

※詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」をご覧ください。
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)